

教材名 「よく見て入れよう」

教材のポイント

○手元をよく見る注視、穴と同じ大きさの物をさすために親指、人差し指、中指の3本の指先に力を集中させる。

○素材により、差し込むときの感触が異なることを楽しみながら学習に取り組むことができる。

- ・グルースティックは、折れないが摩擦抵抗が強い、
- ・ストローは入れやすいが折れやすい。

○集中力を持続しながら学習を続けるために、お店屋さんごっこなどの場面の設定や、やりとり等好きな活動を取り入れ、楽しんで展開するようにする。

・差し込む物の色により、バニラ、チョコ、いちご、メロン、ももなどの味に見立てると会話が弾む。お店屋さんごっこ（アイス屋さん、ジュース屋さん）をしながら、やり取りをすることで人との関わりや、言語や数の理解を深める。また穴の周りの色づけすることで、色のマッチングをすることが出来る。

提供者： 大竹 恵子

教材の写真



・ストローは入れやすいが折れやすい。



・グルースティックは、折れないが摩擦抵抗が強い。

集中力を持続しながら学習を続けるために、お店屋さんごっこなどの場面の設定や、やりとり等好きな活動を取り入れ、楽しんで展開するようにする。

領域・教科名 自立

教材名 「 学習の振り返りシート 」

教材のポイント

- 自分で振り返られるように○をつけてチェックする。
- まずは、1日を振り返るのではなく、午前中のみで振り返るシートとして使用する。
- 台紙に貼って日々の取り組みを積み重ねていく。
- 曜日や教科でのつまずき、不安定になるかを把握することができる。

提供者： 佐藤章人

教材の写真

落ち着いて学習できたか自分を見つけるチェック表

※できたら○をつける、できなかったら書かない

名前 \_\_\_\_\_

日にち	日	日	日	日	日
曜日	月	火	水	木	金
1	国語・数学				
	スポーツタイム				
2	ホームルーム	国語	数学	国語	数学
	作業	選択A	作業	作業	職業
3	作業	保健体育	作業	作業	職業
	給食				
先生から					
1週間の振り返り					
今週の先生からの評価					

教材名 「テーブルすべり台&ボールスライダー」

教材のポイント

- ・座卓の片方の脚を取り、片方の脚の下にマットを重ねて、児童に合わせた傾斜をつけることができる。
- ・座卓の表面はシリコンスプレーで滑りやすくしている。また、段ボール製のスライダーに引っ掛かりをつけているので、児童のわずかな動きで滑り出すことができる。
- ・すべり台を滑り降りて、そのままボールスライダーができる。分けて使うことも可能。
- ・座位または仰臥位で滑り降りる。
- ・ボールスライダー部分はマットで仕切っている。ブルーシートを敷いておくことでボールの片付けも簡単にできる。

提供者： 加山小百合

教材の写真



棒状のスポンジ。身体のずれを防ぐとともに、引っ掛かりとなっている。児童が乗るまでは止まっていて、手などを動かすと引っ掛かりが取れて滑り出す。

段ボールの上に緩衝材、フェルト地の布を敷く。

領域・教科名 自立

教材名 「牛乳ホルダー」

教材のポイント

- 強く握ってもこぼれない。牛乳をすっぽり入れるだけ。
- 100円で安価。

提供者： 佐久山

教材の写真



領域・教科名自立活動（学校教育全体をとおした）

**教材名** 「 教師の意識（俺自身が教材） 」

**教材のポイント**

教師自身が最善最良の教材である。と同時にそのような意識が必要である。（水口）

提供者： 山田 拓

**教材の写真**

教材教具について（水口先生）の資料より

教材名 「見本合わせ 色と形の弁別 (情報の整理)」

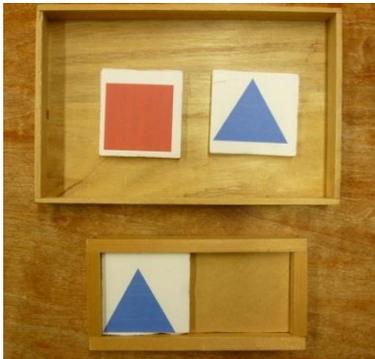
教材のポイント

- ① 色や形の見本合わせ  
2つの異なる色や形の選択肢の中から、見本と同じ色や形を選ぶ。  
(ねらい: 「同じ」を選ぶことと同時に「違う」ものの存在に気付かせる。)  
→ 選択する行動が固定する場合があります、選択項が2項なので50%割合で正選択となるので、課題が適切であること、教師が正選択の位置をランダムにすることを疎かにしないこと等、配慮しなければならない。
- ② 子どもと「やりとり」をしながら進める学習とし、「(マグネットが) 全部なくなったら終わり」という学習の見通しをもたせる。  
(ねらい: 意図的な関わりと学習への見通しを持たせる。)

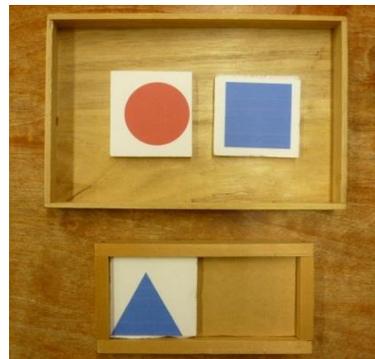
提供者: 米畑 恵子

教材の写真

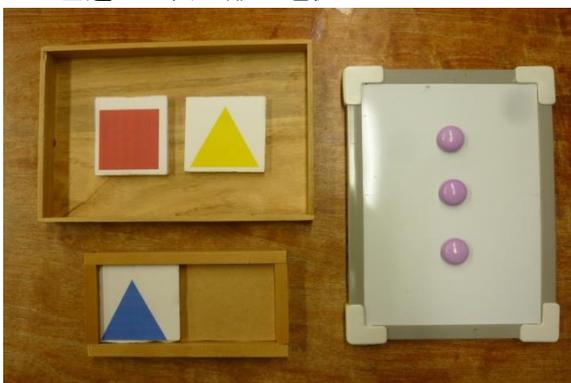
同じ形の選択



同じ色の選択



色違いの同じ形の選択



ボードのマグネットがなくなったら終わり

教材名 「 行事の流れ確認カード 」

教材のポイント

- ・卒業式や入学式、その他の行事など、一日の活動の流れや終わりがわかることで、落ち着いて参加することができる。
- ・終わった事からカードを自分で裏返すことで、活動の終わりや次の内容、あとどれぐらい？が理解でき、活動に見通しが持てるようになる。

提供者： 樋口 純子

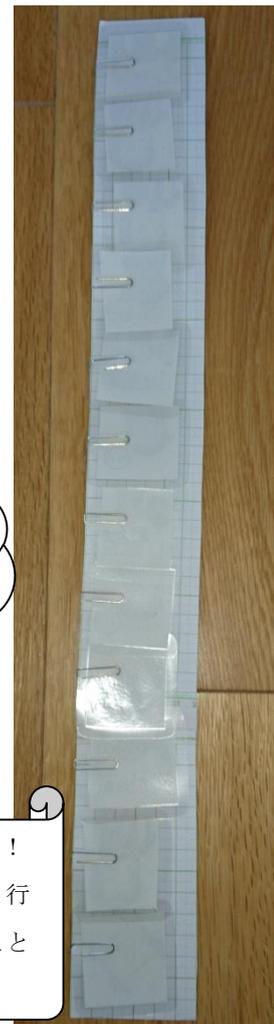
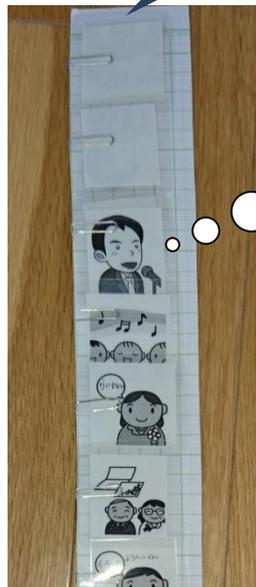
教材の写真

始まる前に、カードを見ながら最初から終わりまでの流れの確認。

終わったものを自分で裏返す。

次は校長先生の話・・・  
その次は歌か

全部裏返して終わり！！  
最後まで落ち着いて、行事や活動に参加することができました。



領域・教科名 自立

**教材名** 「歯みがきカードA4版」

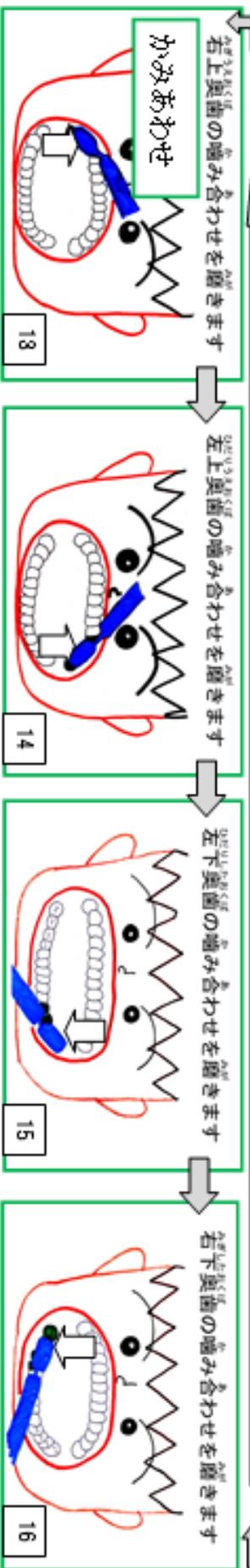
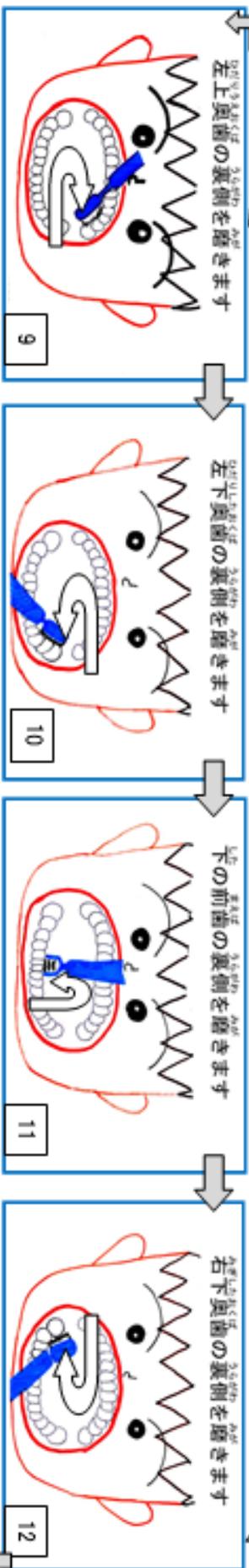
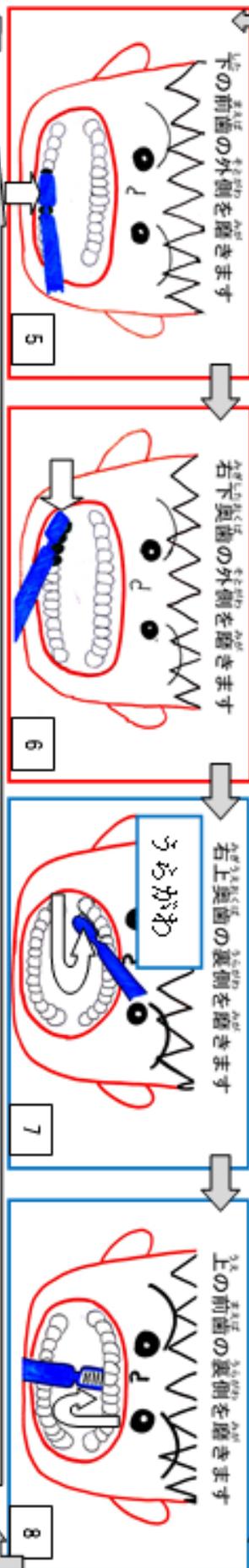
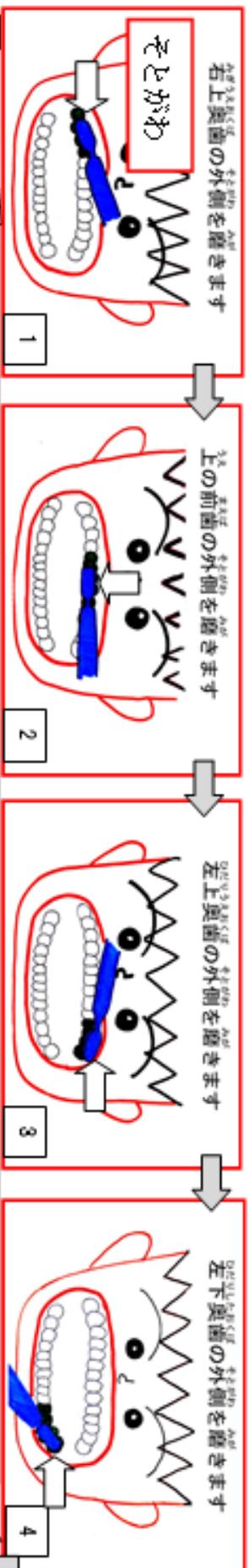
**教材のポイント**

歯みがきの手順をA4の1枚にまとめる

提供者： 栗城 公

**教材の写真**

別紙参照



1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7 - 8 - 9 - 10

**補助具名** 「耳折れ解消枕」

**補助具のポイント**

・常時横になって学習することが多い生徒に対し、横向きになり学習する時に、耳が折れて痛みが起こることを解消し、安心して学習に取り組むことができるように作成した。

・穴の部分に耳が入るように枕に頭を乗せ横向きにする。

・枕の中身は、頭が沈みすぎないような素材を入れて、肌が触れる生地は柔らかい素材を使用している。必要に応じてタオル、ガーゼ等をかぶせて使用した。

提供者： 佐藤 光央

**補助具の写真**

○穴に入れた耳が折れないようにドーナツ部分が十分厚みを持たせている。



○半分に幅を持たせてあるため、顔を上向きしても使用できる。



○使用にあたっては、保護者に承諾を得て、看護師に使用している様子を見てもらい意見をもらうなどして使用を継続した。

○この補助具は、作成後2年間学校で使用している。

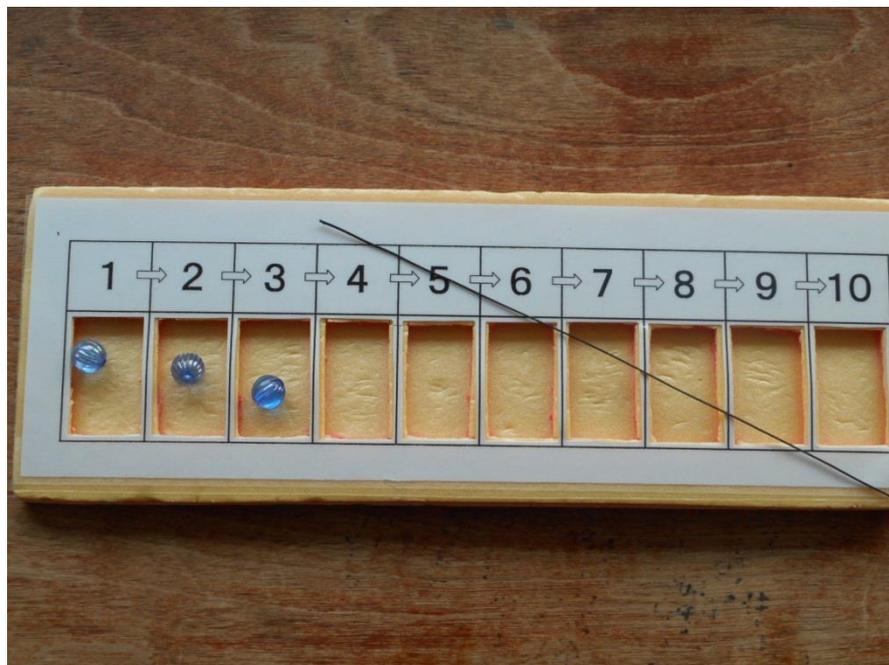
**教材名** 「 順番にならべよう 」

**教材のポイント**

1. 「隣りへ」「隣りへ」と順番にビーズを枠の中に入れていったり、紐通しの際に並んでいる順に取って処理したりする時に活用。
2. 数字や矢印（➡）の意味を伝えるように活用。
3. ビーズの大きさを変えながら学習することで、手指の機能の向上を図る。
4. ビーズやトレイをケースや箱に入れることで、準備から片付けの一連の活動を自分で行うようにする。

提供者： 城戸江理子

**教材の写真**



教材名 「書見台」

教材のポイント

- ・身体の可動域が狭い児童が制作等の活動をする際、書見台を使用することで児童が手を動かしやすくなる。また視覚的に見やすい位置で活動ができる。
- ・台の角度を3段階に調節可能。

提供者： 橋谷田佳奈子

教材の写真

